

『 Rutherford4に対するEVT後の創傷発生率と予測因子』 に対するご協力のお願い

研究の目的と意義	Rutherford5または6に該当する患者さんは生命予後が限られている事が多いです。Rutherford4はその一步手前の病状になりますが、どの程度の割合でRutherford5または6に進行するのかはまだ明らかになっておりません。そのため当院の治療歴からこれを調査します。
研究の方法	2007年4月から2020年12月までの期間でRutherford4に該当する下肢閉塞性動脈硬化症に対して血管内治療を行った患者さんについて、単施設後ろ向き観察研究で実施します。
対象者	西暦2007年4月1日～2020年12月31日の間に、Rutherford4に該当する下肢虚血症状の改善目的に当院で血管内治療を受けて、その後3年間の経過を追った患者さん
利用する試料/情報	試料：なし 情報等：診断名、治療歴、年齢、性別、既往歴、血管内治療内容、生理検査歴
利用する試料/情報の取得方法	当院の電子カルテによる情報を収集します。
利用する試料/情報の管理責任者・住所	済生会横浜市東部病院 院長 〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1
研究組織	「当院単独研究」
試料/情報の院外提供	該当なし
結果公表	雑誌へ投稿を予定しています。
研究参加拒否・同意撤回	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合または一度研究参加に同意された後に同意を撤回される場合は、西暦2024年8月31日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 循環器内科/医員/岸田登志彦
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000(代表) 済生会横浜市東部病院 循環器内科/医員/岸田登志彦